

事業名	原動機付自転車等オリジナルナンバープレート作成				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	11	需用費	1,782	1,782	原動機付自転車等オリジナルナンバープレート作成
	13	委託料	378		
	合 計		2,160	1,782	
実施日	平成 27 年 10 月 1 日～			会 場	安曇野市役所本庁舎
実施主体	安曇野市			課・事務局	市民税課
趣 旨 ・ 事業概要	安曇野市のビジュアルアイデンティティとして決定しているロゴマークと四季のサブカラーを使用し、原動機付自転車等オリジナルナンバープレートを作成した。市の特性や独自性をわかりやすく示すものとして、安曇野市の一体感の醸成を図り、市の魅力を市内外にアピールしていく。 【種類】 50cc 以下（プレートの色：白色）（ロゴ：基本） 50cc 超 90cc 以下（黄色）（春） 90cc 超 125cc 以下（桃色）（秋） ミニカー（水色）（冬） 小型特殊自動車（農耕作業用・その他）（緑色）（夏） 【作成枚数】 合計 3,000 枚				
実施状況	○具体的な内容・様子 原動機付自転車等オリジナルナンバープレートを作成し、10 月 1 日から交付開始 ○成果・効果 1 月 6 日現在までに、全 238 枚のプレート交付中 183 枚がオリジナルナンバープレートであり 77%を占めている。 ○課題・今後の展望など 10 月の交付当初に比較するとオリジナルナンバープレートの交付率が下降傾向ではあるものの概ね好評の様子である。次年度以降も継続していきたい。				
備 考					



オリジナルナンバープレート



平成 27 年 10 月 1 日交付式

事業区分：市民提案事業（補助）

事業名	安曇野で暮らしてみたらツアー		
事業概要	市外県外から安曇野で暮らすことに興味のある参加者を募り、市民や先輩移住者との交流会をしながらバスツアーによる安曇野の良さや魅力を伝え、安曇野市で定住する人を増加させることのほか、移住結婚希望者に対しウェディング施設等の紹介を行ない、安曇野市での挙式移住者を募ることを目的とする。		
事業費		金 額	主な支出内容
	予算額	550,000円	イベント企画料・告知チラシ代・バス代
	執行額	552,478円	告知チラシ代・バス代・会場費及び飲食代
	補助額	500,000円	
実施日	平成27年10月3日	会 場	安曇野スイス村サンモリッツ
実施主体	安曇野のウェディングを盛り上げる会（安曇野結婚式倶楽部）		
実施状況	1 日時 平成27年10月3日 午前10時30分～午後5時 2 対象者・参加者 1 20～63才 45名内男子14名（内家族子供族連れ3人） 2 県内（市外）・県外（東京・埼玉・新潟・栃木） 3 具体的な内容・様子 （1）地元先輩移住者等との交流会 午前11時～12時20分 安曇野スイス村サンモリッツ 市民（役員） 安曇野の講話、 等々力様 安曇野市の主要説明（資料・プロジェクター） 原田輝則 様（移住歴4年） 体験談 （2）昼食 市内そば店にて （3）バスツアー 午後1時30分～午後5時 いこいの池 →穂高神社（ご祈祷・神官お祓い・歴史説明） →美術館（ジャンセン） →道祖神（車窓） →りんご狩（三郷・東本農園） りんご狩りの他 移住者東本様（移住歴10年）体験談 4 成果・効果 秋晴れの好天に恵まれ、きれいな湧水や穂高神社の感心が高く窺え、かつ、りんご狩りも非常に喜ばれ好評でした。 1日の短いバスツアーではありましたが、安曇野の自然等も満喫された上、先輩移住者による体験談の内移住後の職業について参考になった旨の参加者が数人おりましたほか、今回本ツアーに参加して良かったと好評を頂いた方が大勢いました。また、自宅に帰った後きれいな空気を好む息子に伝えたいという東京の女性出席者もいました。 よって、安曇野に移住者を求める初期の目的は大いに達成時期でき効果があったものと考えます。		
備考	最初は募集人員が少なく苦勞いたしました但し後半は参加人数が増加して良かったと思います。		



事業名	安曇野市 山岳フェス				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	13	委託料	5,000	4,968	イベントの企画・運営、広報など
	合 計		5,000	4,968	
	上記の補助金等を含めた事業の総額【 千円】				
実施日	平成 27 年 10 月 3 日、4 日		会 場	国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区	
実施主体	安曇野市 国営アルプスあづみの公園		課・事務局	政策経営課	
趣 旨 ・ 事業概要	山岳をテーマとしたイベントを開催し、市民及び市外からの観光客の誘客を図るとともに、市の PR を行う。 【対象者 市内外からの来訪者 】 【参加人数 8, 9 9 0 人 】				
実施状況	○具体的な内容・様子 山岳トークショー、山ガールファッションショー、ヤッホー大声選手権 1泊2日登山ツアー、アウトドアクッキング教室、 公園ではじめてのキャンプ、星空観察会 山岳記録映画放映、写真展、マンガ原画展 他 ○成果・効果 市内外から大勢の来場者があり、安曇野市の山岳の魅力を発信できた。また、 宿泊・食事等により経済的な面でも貢献できたと思われる。 ○課題・今後の展望など 来場者アンケートによると県外からの集客が少なく、県外者向けの PR が不足していた部分があったと思われる。また、日帰りや市外への宿泊者も多かったため、今後、同様のイベントを実施する際には、市内の宿泊施設の利用補助など、宿泊につなげる工夫や単独のイベント実施ではなく、関係団体等と広く連携して取り組むことで一層の効果が期待できると思われる。				
備 考					



山岳トークショー



山岳写真展



公園ではじめてのキャンプ

事業名	美術館・博物館無料開放				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	合 計		0	0	
実施日	平成 27 年 10 月 4 日～12 日			会場	市立美術館・博物館
実施主体	安曇野市			課・事務局	文化課
趣 旨 ・ 事業概要	市制施行 10 周年を記念して、期間中、市立の博物館・美術館・記念館の入館料を無料とした。 施設：安曇野市豊科郷土博物館、安曇野市豊科近代美術館、田淵行男記念館、安曇野高橋節郎記念美術館、貞享義民記念館、飯沼飛行士記念館、臼井吉見文学館、穂高郷土資料館、穂高陶芸開館 【対象者 来館者 】 【参加人数 3,856 人 】				
実施状況	○具体的な内容・様子 対象の 9 施設は、中学生以下の子どもについては常時入館料無料であり、また市内在住の 70 歳以上の来館者の入館料は全額減免となっているが、今回は年齢、また在住の市内外を問わず、全来館者の入館料を無料とした。 ○成果・効果 前年の同時期や無料開放期間の前後と比べて、より多くの来館者を得ることができた。 ○課題・今後の展望など 来館者からは概ね好評であり、館の担当からは来年も開催できればよいとの声があることから、期間を短くするなどの調整をした上で来年以降も実施したい。				
備 考					



来館者の様子（豊科近代美術館）

事業名	安曇野市制施行 10 周年記念式典				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	8	報償費	1,090	488	市歌発表出演者謝礼、式典出席者記念品他
	9	旅費	160	98	市歌発表出演者旅費
	11	需用費	370	249	式典出席者赤飯他
	13	委託料	2,490	2,364	式典会場準備委託料他
	合 計		4,110	3,199	
実施日	平成 27 年 10 月 4 日			会 場	穂高会館（総合体育館）
実施主体	安曇野市			課・事務局	秘書広報課
趣 旨 ・ 事業概要	市制施行 10 周年を市民と祝い、市の一体感の醸成をさらに進めるとともに、安曇野をより一層全国へ向けて発信する。 市制施行 10 周年を契機として、広く功労者・善行者等に対し感謝状等を交付するほか、市歌の歌詞応募作品の中から最優秀作品等を表彰し、市歌のお披露目等を行う。 【対象者 市政関係者、功労者他】 【参加人数 950 人】				
実施状況	○具体的な内容・様子 市功労者・善行者等の表彰、市の 10 年を振り返る記念映像の上映及び新たに制定された安曇野市歌の発表等を行った。 ○成果・効果 記念式典において広く功労者・善行者等を表彰することで、より多くの市民間で相互理解が図られた。 新市誕生から 10 年の歩みを振り返るとともに、次代を担う小学生を中心とした安曇野市歌の発表等を通じ、市の更なる飛躍・発展に向けた契機となった。 ○課題・今後の展望 より多くの一般市民の方に記念式典へ参加いただくための工夫が必要である。				
備 考					

市長式辞



功労者表彰



市歌発表



事業名	安曇野市制施行 10 周年記念式典放映用 DVD 制作				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	13	委託料	464	464	安曇野市制施行 10 周年記念式典放映用 DVD 制作
	合 計		464	464	
実施日	平成 27 年 8 月 26 日～ 10 月 31 日			会 場	10 周年式典会場ほか
実施主体	安曇野市			課・事務局	秘書広報課
趣 旨 ・ 事業概要	市制施行 10 周年記念式典において、市誕生から各年を映像で振り返り、市の歴史・出来事、市民の皆さんの活動などを記念式典でプロジェクターを用いて来賓に披露した。また、市ホームページや図書館で広く市民の皆さんに公開した。				
実施状況	○具体的な内容・様子 市の歩みや美しい景観、魅力を DVD、ブルーレイに記録。 DVD20 枚、ブルーレイディスク 2 枚を制作。 ○成果・効果 市の 10 年の歩みや記念事業の様子を映像で記録した。これを記念式典で来賓に披露するとともに、ホームページや図書館で広く市民に公開した。市の歩みを振り返り、安曇野のまちづくりを考える機会とすることができた。来賓や市民の皆さんからも多くの問い合わせをいただいた。 ○課題・今後の展望など アナウンスで聞き取りにくい箇所があり、工夫すべきだった。 今後も節目にこうした DVD を制作し、市の歩みを正確に次代に残し、伝えていく必要がある。				
備 考					



事業名	広報あづみの「市制施行 10 周年記念号」発行				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	11	印刷費	1,763	1,483	広報あづみの市制施行 10 周年記念号
	合 計		1,763	1,483	
実施日	平成 27 年 10 月 4 日発行			会 場	市内全世帯配布
実施主体	安曇野市			課・事務局	秘書広報課
趣 旨 ・ 事業概要	市誕生から各年を振り返り、市の歴史・出来事、市民の活動などを将来に向けて記録し、残すべき「安曇野市の姿」を主に年表や写真で綴った。さらに、各種市制施行 10 周年記念事業を同時に収録。全世帯に配布するほか、記念式典の記念品として活用した。				
実施状況	○具体的な内容・様子 A4 版 40 ページ (カラー)、40,000 部 安曇野四季の詠、市の歩み (安曇野アルバム)、10 周年記念事業レポート、新成人との座談会、市民メッセージほか ○成果・効果 市の 10 年の歩みや記念事業の様子、市民のメッセージなどを冊子として記録できた。全世帯に配布することで、市の歩みを振り返り、安曇野のまちづくりを考える機会とすることができた。市民の皆さんからも好評の声を多く聞くことができた。 市外からの視察者への配布など市を紹介する資料としても提供依頼が多かった。 ○課題・今後の展望など レイアウトで文字が見えにくい個所が見受けられたり、表紙や裏表紙をもう少し厚い紙を用いたりするなど工夫しても良かった。今後も節目ごとに記念誌を制作し、市の歩みを正確に次代に残し、伝えていく必要がある。				
備 考					

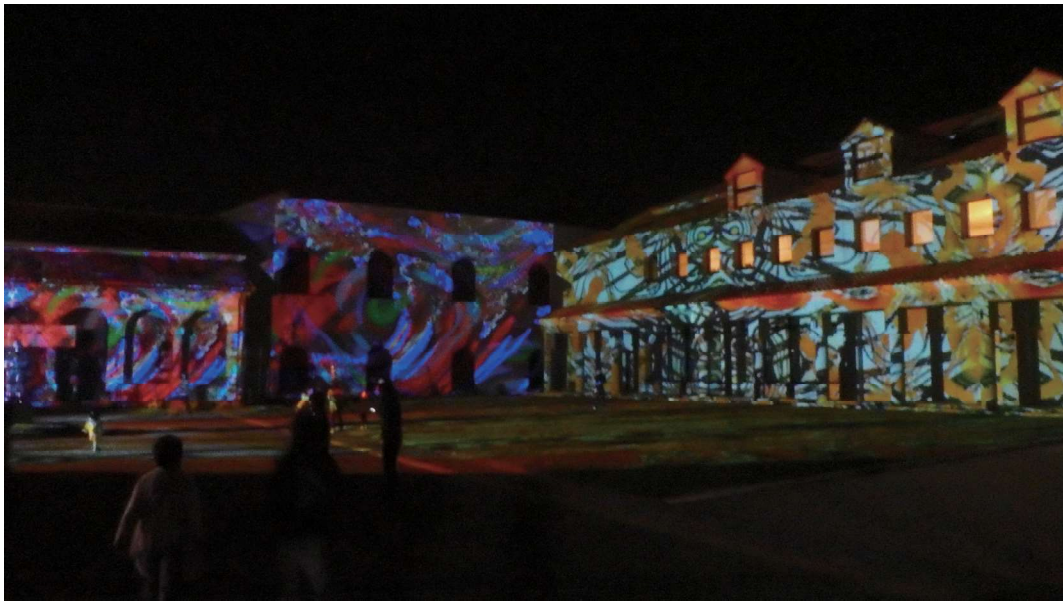


事業名	市民まつり				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	8	報償費	3,500	3,120	おふね作製謝礼
	9	旅費	709	0	
	11	需用費	0	36	おふね作製消耗品
	12	役務費	108	0	
	13	委託料	5,900	6,791	会場設営他
	合 計		10,217	9,947	
実施日	平成 27 年 10 月 10 日			会 場	市役所本庁舎及び周辺
実施主体	安曇野市			課・事務局	政策経営課
趣 旨 ・ 事業概要	市制施行 10 周年を記念して、更なる市民の一体感の醸成や、未来へ向けた新たな出発点となるイベントとして開催した。 【対象者 市民及び近隣からの来訪者】 【参加人数 4, 5 0 0 人】				
実施状況	○具体的な内容・様子 パレード、パレード参加車両の展示、ご当地キャラステージ、 県警察音楽隊ふれあいコンサート、市内小中学校 金管バンド・吹奏楽の演奏、 ジバニャン・コマさんバラエティーショー、デジタル掛け軸 グルメブース、特産ブース、企業ブース、おふねの展示・曳航 セグウェイ体験、プリント T シャツづくり体験 安曇野市 知っ得ブース（障がい者福祉施設の展示販売会、市実施事業の PR、体験など） 市民タイムスパネル展示、メッセージボード、 安曇野市民スター誕生（公募によるステージ発表） など ○成果・効果 1 日を通して大勢の来客があり、市民の一体感の醸成につながったと思われる。 また、障がい福祉施設やグルメブースなど、物販も概ね良好な売上げだったため、 経済効果及び地域への利益還元も少なからずできたと考えられる。 ○課題・今後の展望など 市全体を対象としたイベントが少ないため開催の必要性はあるが、10 周年を記念した特別な事業であるため継続的な実施は難しい。民間で実施することができれば理想的だと思われる。				
備 考					



事業区分：市民提案事業（補助）

事業名	デジタル掛軸		
事業概要	豊科近代美術館前の庭より「デジタル掛軸」の映像を映し、安曇野吹奏楽団の演奏によるコラボにより幻想的な行いました。		
事業費		金額	主な支出内容
	予算額	550,000円	デジタル掛軸一式
	執行額	550,000円	〃
	補助額	500,000円	
実施日	平成27年10月10日	会場	豊科近代美術館
実施主体	輝け安曇野の会		
実施状況	1 日時 平成27年10月10日 日没～午後8時 (市民まつりと同時開催) 2 対象者・参加者 市民 600名 3 具体的な内容・様子 「デジタル掛軸」の投写とステージにおける「安曇野吹奏楽団」15名による市制施行10周年を祝う、秋の夜長を飾るにふさわしい、素敵な時間を過ごす事ができました。 4 成果・効果 市民約600名の方が固唾を飲みながら見とれ聞き惚れました。 また、子供達が映像を追いかけるシーンがとても印象的でした。		
備考			



(事業区分：市民提案事業（補助）)

事業名	安曇野かるたとり		
事業概要	安曇野の良さを題材にしたかるたとり		
事業費		金額	主な支出内容
	予算額	60,000円	印刷代
	執行額	60,000円	印刷代
	補助額	60,000円	
実施日	平成27年10月10日	会場	市役所本庁舎
実施主体	安曇野大好き会		
実施状況	1 日時 平成27年10月10日 12:00~16:30 (市民まつりと同時開催) 2 対象者・参加者 親子、ご夫婦 150名 3 具体的な内容・様子 参加者（ご夫婦・お子さん）4人とスタッフが読みふだを読んで、かるたを取っていただく。 4 テーブルに分かれ、それぞれにスタッフが付いた。 4 成果・効果 身近なところや知らなかったところに発見があったようです。 ご夫婦や家族で仲良く楽しく参加していただけて良かったです。		
備考	(感想、今後の展望など) 安曇野に住んでいる方に、こんな「かるた」があったんだと喜んでいただけてうれしかったです。自然のすばらしさ、あたり前の景色に感動して気がついてほしいです。		



安曇野かるたとり開催の様子（市民まつり 4階会場）

事業名	安曇野環境フェア 2015				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	8	報償費	130	130	人形劇謝礼、記念品
	11	需用費	470	448	消耗品、印刷製本費
	12	役務費	146	145	保険料、電源増設手数料
	13	委託料	1,858	1,802	コンサル委託料、設営委託料
	合 計		2,604	2,525	
	上記の補助金等を含めた事業の総額【2,575 千円】				
実施日	平成 27 年 10 月 10 日、11 日			会 場	安曇野市堀金総合体育館
実施主体	安曇野市 安曇野環境フェア実行委員会			課・事務局	環境課
趣 旨 ・ 事業概要	■環境に関する情報や取り組みが一堂に会する場として企画 位置づけとねらい ①環境に関する課題を市民が共有できる場を提供する。 ② 出展者と来場者の交流を深め、これまで参加していなかった人を巻き込む。 ③ 参加者同士がお互いの顔を見えるようにし、つながりの環を広げる。 【対象者 市内外の市民・事業者・行政】 【参加人数 1,800 人 】				
実施状況	○具体的な内容・様子 ・パネル展示、体験ブース(市民団体・企業等による展示) ・環境に関する商品等の販売 ・環境活動発表会(企業等) ・環境学習発表会(市内外の学校) ・リサイクル自転車の展示・頒布 ○成果・効果 ・多くの来場者があり、環境に関する情報の提供の場として機能することができた。 ・多彩な情報の発信により、出展者と来場者の交流を深めることができた。 ○課題・今後の展望など 魅力ある展示と会場レイアウトの工夫、実行委員会への多くの新規委員の参加、効果のある広報の模索などにより、更に多くの市民を巻き込み、環境に関する情報提供の場としての効果を高めていく。				
備 考					



会場風景 1



会場風景 2

事業名	「安曇野環境フェア 2015」参加 景観・緑化パネル展				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	13	委託料	432	421	景観・緑化展示パネル等作成
	合 計		432	421	
実施日	平成 27 年 10 月 10 日、11 日			会場	堀金総合体育館
実施主体	安曇野市			課・事務局	建築住宅課
趣 旨 ・ 事業概要	パネル展示等を行うことにより、景観・緑化への関心を高めるとともに、「緑のまちづくり事業」のパンフレットを配布し事業の周知を行う。 専門家による相談窓口を設け、庭木の植え方、育て方などの管理方法や病害虫防除など、市民からの相談に応じることで緑化の推進を図る。 【対象者 安曇野環境フェア 2015 来場者 】 【参加人数 211 人 】				
実施状況	○具体的な内容・様子 パネル展示（緑のまちづくり事業、景観づくり住民協定、市緑化協会） 緑のまちづくり事業パンフレットの配布 緑化なんでも相談 記念樹推奨木の展示 ○成果・効果 環境フェア 2 日間の来場者は約 1,800 名でありましたが、当展示ブースは 2 日間で 211 名しか集客することが出来なかった。しかし、緑のまちづくり事業の事業周知は少なからず出来たと思う。 ○課題・今後の展望など 集客が多いブースは、子どもが楽しめる催しを行っているブースであったため、今後は子どもが楽しめる体験コーナーを検討し集客率を上げたい。				
備 考					

相談風景、記念樹展示



パネル



事業名	導引養生功講習会
実施期間	平成 27 年 10 月 12 日
開催場所	三郷文化公園体育館
実施内容	導引養生功と言う、長野県ではまだまだ知られていない新しい功法を、連盟の理事長さんを招き教えて頂き、体の内部の動きを知り、新しい健康法を学びました。
参加者数等	参加者 61 人



事業区分：冠事業（市民）

団体名 安曇野ふるさとづくり応援団

事業名	第22回 ふるさとウォッチング in 安曇野
実施期間	平成27年10月12日
開催場所	豊科細萱地区
実施内容	北アルプスを望む秋晴れの中、美しい田園を散策しました。 昼食にはぬかくどおにぎりを食べながら交流を深め、今回も満足度の高いウォーキングとなりました
参加者数等	参加者 63人



安曇野ふるさとづくり応援団

安曇野市制施行10周年記念

ふるさとの魅力を再発見！ 安曇野の原風景を巡るガイド付ウォーキング

「第22回 ふるさとウォッチング in 安曇野」



22回目の「ふるさとウォッチング」は、田園風景が美しい豊科細萱地区。県民豊科運動広場を起点に飯沼飛行士記念館や洲波神社、細萱館跡や玄播稲荷など約5キロを訪ね歩き、散策後には“ぬかくど”で炊いたおにぎりを味わって参加者同士の交流を深めます。安曇野の自然、歴史、文化を学びながら、秋の安曇野を一緒に散策してみませんか？

事業名	三郷地域市民文化産業展				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	240	184	三郷祭記念品、協力員役員謝礼
	11	需用費	98	98	プログラム印刷費
	13	委託料	367	367	会場パネル運搬設営業務委託
	14	使用料及び賃借料	215	215	机等借上料
	合 計		920	864	
実施日	平成 27 年 10 月 17、18 日			会場	三郷文化公園体育館
実施主体	三郷地域市民文化産業展 実行委員会			課・事務局	三郷地域課（三郷公民館）
趣 旨 ・ 事業概要	三郷祭事業の一環として、市民の文化、産業の振興及び親睦を図るため実施する。 【対象者 三郷地域市民】 【参加人数 1,029 人】				
実施状況	○具体的な内容・様子 一般展示 三郷地域住民の芸術文化作品、地域で活動している団体の作品、友好都市交流作品 企画展示 三郷小学校児童、三郷中学校生徒の力作展 おくつろぎコーナー 珈琲、抹茶の無料サービス 市民に配布するパンフレットに「市制施行 10 周年記念」のタイトルを入れて周知するとともに、当日は会場に桃太郎旗を掲げた。 ○成果・効果 例年同様の盛況ぶりであった。 ○課題・今後の展望など 来場者数が 1,000 人を超えるほど三郷地域市民から親しまれているため、今後も継続事業として開催していきたい。				
備 考					



盆栽・山野草コーナー



抹茶コーナー



展示会場